

# 札幌地区高等学校バスケットボール春季大会結果報告

清田高校女子バスケットボール部

## 《春季大会》

【予選リーグ】

平成30年4月21日(土)22日(日)

×	62	$\left[ \begin{array}{l} 12 - 27 \\ 16 - 8 \\ 11 - 15 \\ 23 - 20 \end{array} \right]$	70	北広島	3P 18%、2P 35%、FT 50% OR 42%、DR 59%、TO 20本
○	80	$\left[ \begin{array}{l} 20 - 10 \\ 21 - 18 \\ 9 - 24 \\ 30 - 8 \end{array} \right]$	60	英藍	3P 26%、2P 38%、FT 100% OR 50%、DR 77%、TO 24本
○	129	$\left[ \begin{array}{l} 36 - 4 \\ 22 - 2 \\ 41 - 10 \\ 30 - 10 \end{array} \right]$	26	北	3P 25%、2P 51%、FT 25% OR 65%、DR 74%、TO 8本
○	109	$\left[ \begin{array}{l} 26 - 5 \\ 39 - 7 \\ 13 - 15 \\ 31 - 12 \end{array} \right]$	39	西陵	3P 25%、2P 51%、FT 71% OR 40%、DR 48%、TO 15本

【決勝トーナメント】

平成30年5月4日～

1回戦

○	65	$\left[ \begin{array}{l} 28 - 17 \\ 13 - 9 \\ 16 - 16 \\ 8 - 22 \end{array} \right]$	64	恵庭北	3P 30%、2P 25%、FT 69% OR 49%、DR 73%、TO 21本
---	----	--	----	-----	--

2回戦

×	41	$\left[ \begin{array}{l} 13 - 15 \\ 12 - 10 \\ 6 - 23 \\ 10 - 24 \end{array} \right]$	72	恵庭南	3P 18%、2P 25%、FT 45% OR 34%、DR 54%、TO 33本
---	----	---	----	-----	--

(注) 3P:3点シュート 2P:2点シュート FT:フリースロー OR:オフェンスリバウンド  
DR:ディフェンスリバウンド TO:ターンオーバー(ミス) F:ファウル ST:スティール

予選リーグ戦は北広島戦が山でした。昨年の高体連で大敗を喫していたので、生徒がビビっており、ターンオーバーを繰り返して、第1ピリオドで12-27と実力以上の差が開いてしまいました。自分たちの力を信じることができずに、また昨年度の大敗が記憶にあるのか何でもないミスを繰り返しておりました。第2ピリオドからは平静さを取り戻し、徐々に反撃を開始し、第4ピリオド残り5分で逆転に成功。残り4分では5点リードを奪い、このまま勝てるかと思ったところで、キープレイヤーである2年生の多羅尾 歩伽が5ファウルで退場してしまいました。ポイントガードを失って、コントロールが効かなくなりそれからまたミス連続。結局62-70で負けてしまいました。しかし、英藍、北、西陵の3チームには1年生部員も含め全員出場し大勝。リーグ2位ではありますが、決勝トーナメントに進出することができました。

決勝トーナメント1回戦は、冬にも対戦したことのある恵庭北高でした。第1ピリオドは冬のときと同じ、楽勝ムードで試合を運びましたが、第2ピリオドから得点が止まり、雲息が怪しくなりました。第3ピリオドは恵庭北がゾーンディフェンスを仕掛けてきて、リードは保っていましたが、完全にゲームの主導権を恵庭北に握られるような展開となってしまいました。ゲーム終了間際の残り14秒で、恵庭北に63-64と逆転されてしまいます。タイムアウトを取って、最後のオフェンスの指示を出しました。寺田 果桜が指示通りシュートをしましたが、外れ1年生の目下部 夢叶がリバウンドシュート。これも外れて万事休すかと思つたところ審判がファウルをコールしてくれました。目下部 夢叶はフリースローを2本とも決めてくれ、逆転に成功。残り7秒で恵庭北がタイムアウト。うまく守って、相手のシュートが落ちたのですが、そのリバウンドを、3年生工藤 未来と2年生照井 香穂がお見合い。相手に取られたところに遅れて取りに行つて、残り1秒でファウル。相手にフリースローを与えてしまいました。これが2本とも外れ、何とか勝利することができました。

2回戦は、第7シードの恵庭南です。あまり大きな生徒はいませんが、最近には常にベスト8にいる強豪校です。第1ピリオド13-15。第2ピリオド12-10。とこちらの思惑通りロススコアで、前半25-25の同点で折り返し。このままの残りの半分を何とか持ちこたえて、接戦に持ち込みたかったのですが、後半地力に勝る恵庭南に走られ、みるみる点差がついていきました。敗因は、リバウンド・ルールズボールで背の小さな相手にも圧倒され、また当たりの強いディフェンスに、自分たちの日頃のシュートができなかったことだと思います。ベスト8のチームをやっつけるには、まだまだ体力的にも、精神的にも鍛えなくてはなりません。

高体連まで2週間と少しですが、修正して頑張らせたいと思います。応援してくださった先生方や、連日会場に足を運んでいただいた保護者の方々、OGに心から感謝申し上げます。